

アプリケーションエンジニア

現職に転職してもうすく2年たつ。自動車用樹脂燃料タンクのアプリケーションエンジニアとして自動車メーカーの顧客と技術開発、折衝業務を行うことが主な仕事だ。プロジェクトごとに海外工場、海外開発拠点、営業拠点とチームを組み、その一員として業務を進める。燃料系経験は長くはないが、日米での自動車デザイナー開発、構造解析、外資系セルスエンジニア等で培ったこれまでの経験を基に不足分を学びつつ主担当として業務を担っている。

凛としていきる

理系女性の挑戦

各分野で業界を多様化



今の仕事の難しい点として、海外とのコミュニケーションが話に耳を傾けるように努めている。こうした中で働いていると、男女の差は大きな違いで、価値観の違いにより簡単ではない。自分色眼鏡を外し、お互

いが違う世界に任せている事を前提に相手の話に耳を傾けるように努めている。こうした中で働いていると、男女の差は大きな違いで、価値観の違いにより簡単ではないと思うようになる。日本に多様性が求められる昨今、日本国内における男性/女性技術者間のチームワークは、母国語と専門性を共通としているため、グローバルコミュニケーション製品ラインアップ

がしたいと思うようになり、以前より仕事への自負は強くなった。女性技術者は子供を育てば、しばらく時間に関りがあある働き方になる場合が多いが、それは長いキャリアにおいて一時のことである。以前のようには働けなくなると、周囲は扱いに戸惑い、本人は専門性に自信がなくなるかもしれない。しかし、これまでの知識や経験を一般化、軌道修正することにより、専門性を生かした形でチームに貢献できる分野をみつけ出し、更に成長を続けることは可能だ。女性技術者が各分野でしなやかに生き残り、業界を多様化させ強化することに貢献できることを願っている。

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEF)

TI Automotive Japan 定直 令子



プロフィール 2000年筑波大学基礎工学類卒業 カメラメーカー、自動車メーカー勤務後渡米、帰国後解析事務所、外資系メーカーを経て現職。JWEF個人会員